

Tohoku
Women's

H

urdling
Project
2006

平成18年度
杜の都女性科学者
ハードリング支援事業
活動報告書



TOHOKU
UNIVERSITY

Outline

概要

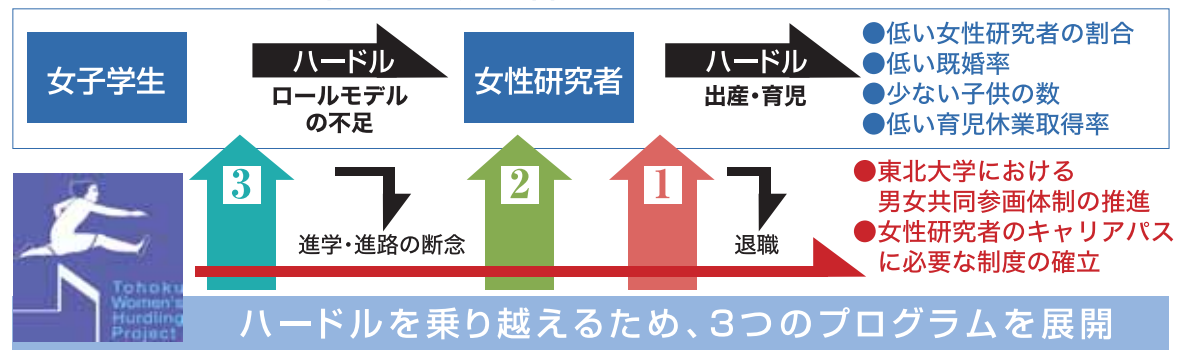
平成18年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」において、東北大学が提案した「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」(事業期間:平成18年7月～平成21年3月)が採択されました。

本事業は、①育児・介護支援 ②環境整備 ③次世代支援の3つのプログラムから成り、主に本学における自然科学系分野部局に所属する女性研究者を対象に育成支援を行うことで、学内の男女共同参画を推進することを目的とします。



来て、見て、触って、感じる科学 withサイエンス・エンジェル(於:仙台市科学館)

女性研究者のハードル



Support for Child/Family Care

①育児・介護支援プログラム【女性研究者の育児と研究の両立を支援】

◎支援要員制度の設立

女性研究者が出産、育児等を理由に研究を断念することがないように、研究面をサポートする支援要員を配置。

平成18年度支援実績 ●理学研究科...1名 ●工学研究科...3名 ●金属材料研究所...2名 ●加齢医学研究所...1名

◎ベビーシッター利用料補助制度の設立

女性研究者が出産、育児等を理由に研究を断念することがないように、ベビーシッター利用料を補助。

平成18年度支援実績 ●歯学研究科...1名 ●工学研究科...2名

◎育児のための短時間勤務制度試行に向けての検討

教員について、育児部分休業の拡大による制度の試行を検討。

Improvement of Facilities

②環境整備プログラム【女性研究者の職場環境の改善】



大学病院病後児保育室「星の子ルーム」

◎大学病院 病後児保育室の全学利用開始

これまで、星陵地区構成員のみ利用可能だった大学病院病後児保育室「星の子ルーム」が全学で利用可能に。

平成18年度支援実績 全学利用開始にあたり、本事業より2名の職員(看護師・保育士)を追加配置

「ハードリング支援事業」は、女性研究者がその能力を最大限発揮できるように、様々な支援策を実施しています。

◎女性用休憩室の整備

女性研究者の職場環境整備の一環として実施。

平成18年度支援実績

- 歯学研究科に新規に女性用休憩室を設置(工事費等を本事業で負担)
- 薬学研究科、工学研究科、情報科学研究科、金属材料研究所及び多元物質科学研究所に女性用休憩室整備のための備品・消耗品を提供。

Support for Next Generation

③次世代支援プログラム【次世代の女性研究者の育成】

◎サイエンス・エンジェル制度の設立

自然科学系分野部局に在籍する大学院女子学生を本事業に参画させ、次世代の女性研究者を育成。



平成18年度採用実績

- 理学研究科...10名
- 工学研究科...3名
- 生命科学研究科...11名
- 医学系研究科...4名
- 農学研究科...1名
- 歯学研究科...4名
- 情報科学研究科...1名
- 薬学研究科...5名

主な活動内容

宮城県第二女子高等学校講演会(10月)
「理系白書シンポジウムin仙台」プレワークショップ(12月)
「来て、見て、触って、感じる科学withサイエンス・エンジェル」(仙台市科学館)(2月)
部局交流会(理学研究科(2月)・歯学研究科(12月)・生命科学研究科(3月))

◎女性研究者等交流ネットワークメーリングリスト[MORIHIME.NET]の開設

学内ネットワーク構築のため、本学所属の女子学生及び女性研究者を対象にメーリングリストを開設。

理系白書シンポジウム in 仙台

夢を形にするチカラ～女性科学者ってカッコよくない?～

東北大学100周年キャンペーンの一環として、毎日新聞社との共催により実施。

日時:平成18年12月23日(土) 13:00～17:00

場所:東北大学マルチメディアホール

後援:内閣府男女共同参画局、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

基調講演:東京大学大学院総合文化研究科教授・総長特任補佐 黒田 玲子

パネリスト(学外):

キリンビール株式会社醸造研究所主査 横向 慶子
駒澤大学総合教育研究部講師 坂野井 和代
宮城県第一女子高等学校 理数科2年 萱場 敦子

コーディネーター:毎日新聞科学環境部記者 元村 有希子

参加者:約400名



☑支援要員制度

子供の病気等で休暇を取らざるを得ない場合があるため、業務の滞りが懸念されました。支援要員制度では長期間かつ、ある程度の技量をもった方を派遣していただいた為、滞ることなく業務を遂行できました。

また、支援要員制度を利用したことによって精神的な負担も大幅に減り、安心して仕事と育児に専念することができました。

「男女共同参画」や「少子化問題」が社会的話題になっている中、この「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」はタイムリーな制度ですばらしいと思います。今後、大学に深く浸透し、また、このような働く女性を支える制度が社会に広がるように、長期継続的な取り組みを期待します。

☑病後児保育室

実際に利用させていただいて、子供は保育園に登園できるぎりぎりの状態でも、少人数でゆったり過ごすことのできる施設で、仕事を休まず預かっていただくことができ、子供の体調も回復し、安心して仕事をすることができました。

全学利用になってとても助かりました。ありがとうございました。

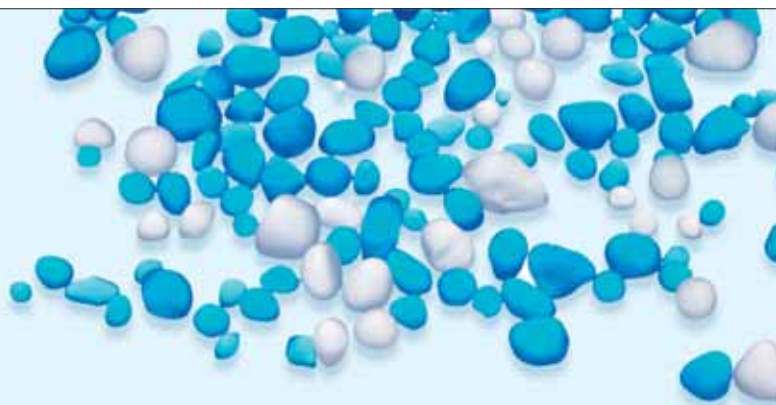
学内の施設なので、仕事の事情や状況を話しやすく、外部に頼むよりも気が楽です。

☑サイエンス・エンジェル制度

この活動を通じて自分の研究分野以外の理系の女性研究者・女子大学院生と接することができ、同じ理系の中での似たような問題をシェアしたり、逆に同じ理系でもまったく違った環境を知ることができたりしました。

将来のイメージがつかめずに不安でいました。また、女性だから結婚、出産したら研究を続けるのは厳しいと勝手な先入観がありました。今回、活動して、自分にとってのロールモデルや他の研究科のSAと出会うことができ、「研究を続けてもいいんだ」ということに気づきました。とても単純なことかもしれませんが、ひとつ選択肢が広がったことがとてもうれしかったです。

研究が第一、SAはその次という位置関係だけれど、研究では得られないものをSA活動で得られたことは、研究者としても女性としても良かったなと思っています。



特定領域研究推進支援センター 女性研究者育成支援推進室

(室長)副学長(男女共同参画・学術情報担当)	野家 啓一
(副室長)総長特別補佐(男女共同参画担当)	大隅 典子
(副室長)理学研究科	教授 小谷 元子
(室員)教育学研究科	教授 生田 久美子
(室員)法学研究科	助教授 蘆立 順美
(室員)理学研究科	助手 玉江 京子
(室員)医学部保健学科	助教授 石井 恵子
(室員)歯学研究科	助手 畠山 純子
(室員)薬学研究科	助教授 倉田 祥一郎
(室員)工学研究科	助教授 松嶋 紀佐
(室員)工学研究科	助教授 田中 真美
(室員)農学研究科	教授 山谷 知行
(室員)生命科学研究所	助教授 田村 宏治
(室員)生命科学研究所	助教授 布紫 達男
(室員)金属材料研究所	教授 米永 一郎
(室員)加齢医学研究所	教授 松居 靖久
(室員)多元物質科学研究所	教授 栗原 和枝
(室員)多元物質科学研究所	助教授 佐上 博
(室員)特定領域研究推進支援センター	助手 久利 美和
(支援スタッフ)	
我妻 絢 岩渕 美歩 安住 ふみ 佐藤 彩子	

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1

東北大学 特定領域研究推進支援センター 女性研究者育成支援推進室

URL: <http://www.morihime.tohoku.ac.jp>

E-mail: mh_office@morihime.tohoku.ac.jp